



JR東労組仙台

East Japan Railway Workers' Union SENDAI

東日本旅客鉄道労働組合仙台地方本部

発行者:佐々木克之

編集:情宣部



2024年3月14日 No.68 東北三地本HP

3月8日会社回答に対する職場の声 第5弾



・今回の内容に関しては可もなく不可もなくの結果かなと思っていました・生活に追いついていない実感。だんだん収入が減り、追いついていない。生活と他の会社の満額回答と会社回答のギャップを感じる。一言で言って、「わからない」・世間相場に見合っていない。物価上昇で家計は逼迫している。・ベアに格差は必要ない。気持ちよく満額回答。・働き度に見合っていない。融合と連携で社員は疲弊している。このままでは若手の退職が増え、更に業務量が増えるのではないかと。・早々に夏期手当が提示され、低額の回答にモチベーションが上がらない。

若手はもっと不満を口にしたい方がいい。少し上がったから良いではなく、将来の賃金に関わってくる。・出たという印象。しかし、業績が良かった時に出さなかった事に腹が立つ。・賃金も大事だが、労働条件も大事。・生活が安定してこそ仕事ができる。生活に不安を抱えたままでは、安全が脅かされかねない。・額としては多いと感じたが、ベアに格差を付けるのは納得出来ない!

もっと上げて欲しい・予想より出してきた感じがする・業績改善に対し、昨年度から変わっていないように感じる。融合と連携で業務量はかなり増えている!満額回答すべき!・もっと上げて欲しい・まだ出し渋っている・仕事がキツイばかりで魅力が全く無い。生活するために働いて、働きがいなど全く無い。働きがいを持つように賃金改善を求める。・コロナ前、中もずっと仕事を頑張ってきた。仕事の内容もどんどん変わり社員一人一人にかかる負担は増える一方。コロナが5類になりインバウンド客が増えてきた。もっと社員一人一人に還元すべき。だから退職する社員が増える。・若手が働きたいと思える会社にすべきだ・金額的には意外と多いと感じたが目に見える形で格差があり、ベースアップの本質とは程遠い、金が欲しかったら偉くなれという意図を感じる。・一般社員が思ういい業績に比例しない夏季手当の回答でさらなるモチベーションの低下につながる。会社は常に2018年と比較し納得感のない理由を述べて低額の回答をするがいつまで繰り返すのか、このままでは将来的にも不安につながる。・所定昇給額をベアに持ち込む必要性を感じない。現場で働く者をどの様に考えているのか、社員はものではありません。感情があります。夏季手当に関しても、社員に対する感謝の意は感じません。私たち社員は、社員ですが、会社の従属物ではありません。率直に出た方だとは思いますが、夏季手当は納得できない。上方修正するくらいの業績回復しているから支払い能力は十分ある。・格差をつけるほど管理者が仕事をしていない。むしろ一般社員に手厚くすべき。・会社がその程度の回答ならこっちも最低限の仕事しかできない(乗務員の仕事のみ、ワーキングはしない)・要求が一つしか実現していない・役員だけが報酬アップして得している・色々な施策を手伝っている・これ以上何をすれば俺たちに還元するのか・自然災害が甚大化して設備投資は仕方ない・社員に報いていない・2.85なり2.9とか出して6か月ベースにしてくれ・コロナ前、コロナ前いつまで言っているのか・コロナ前に戻ったら満額よこすのか・このままでは離職が増える。魅力ある会社じゃなくなる・純ベアに差をつける手法・職責に対する処遇は定期昇給で十分ではないのか。一般職は現場で直接人命に関わる仕事を担う役割なのに、ベアに差が出るとそれが軽んじられているように感じる。職制は役割の違いであって、能力や貢献度の優劣ではないはず。純ベアの水準は低いわけではないが、物価高やコロナでの出費増、21春闘の定昇カットを考えると、すんなりと納得はできません。・格差ベアは必要ない。実態にあわない。・西日本や東海よりも見劣り感が否めない。大手企業が満額なのに何故?必ずも収益がコロナ前に戻らなくても出しているのに。納得できない。・早くやすい回答出して議論しない感が、腹立たしい。これが交渉なのか?・営業利益が回復していないというが、統括センター化を始めとした会社施策で経費を使いすぎたからではないか。・改定後2.83相当なんて言われ方をして納得するわけがない。姑息。・そもそも議論してたのが、わかりませんでした。・査定期間は3/31までなのに、これで手を打たせようとする姿勢が気に入らない。